



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。  
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に  
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

## ラニーニャ現象で寒い冬になりそう！？ 寒い時期の耕起によるジャンボタニシ対策！

《2022大寒》  
1月20日(木)

令和4年1月20日は、大寒になります。大寒は1年で最も寒くなる時期とされています。最も寒くなる時期を利用して、トラクターの耕起作業により直接的に貝を潰したり土の中のジャンボタニシを寒さ（冷氣）にあてるなどして対策を行いましょう！！

ジャンボタニシ = (正式名) スクミリンゴガイ

ジャンボタニシの寒さによる活動限界

気温 5℃ → 4日～7日

気温 マイナス3℃ → 約3日

気温 マイナス6℃ → 約1日

<参照※九州農試試験成績より引用>



ジャンボタニシの弱点！  
寒さには弱い！！

ジャンボタニシは、  
もともと南米原産のため  
寒さに弱いよ！



貝の大きさによって違う？特徴を抑えよう！！



小貝

1cm以下



中貝

1cm～2.5cm



大貝

2.5cm以上

冬の寒さに弱い。  
トラクターの爪で潰しにくい。  
石灰窒素による防除は効果的！

この中では、寒さに一番強い。  
土中に潜るのが上手く土中の  
越冬率が高い。

比較的、寒さに弱い。  
土中に潜るのが下手なため  
潰しやすい。

## ジャンボタニシ対策の耕起作業のポイント！！

貝を潰すために・・・

- ゆっくり走る
- ロータリーの回転数を速くする
- 2回以上耕起する

貝を寒さにあてるために・・・

- 乾燥した厳寒期に耕起する

拡散防止のために・・・

- トラクターを移動するときは  
よく洗って貝の生息域を広げないようにする

寒

